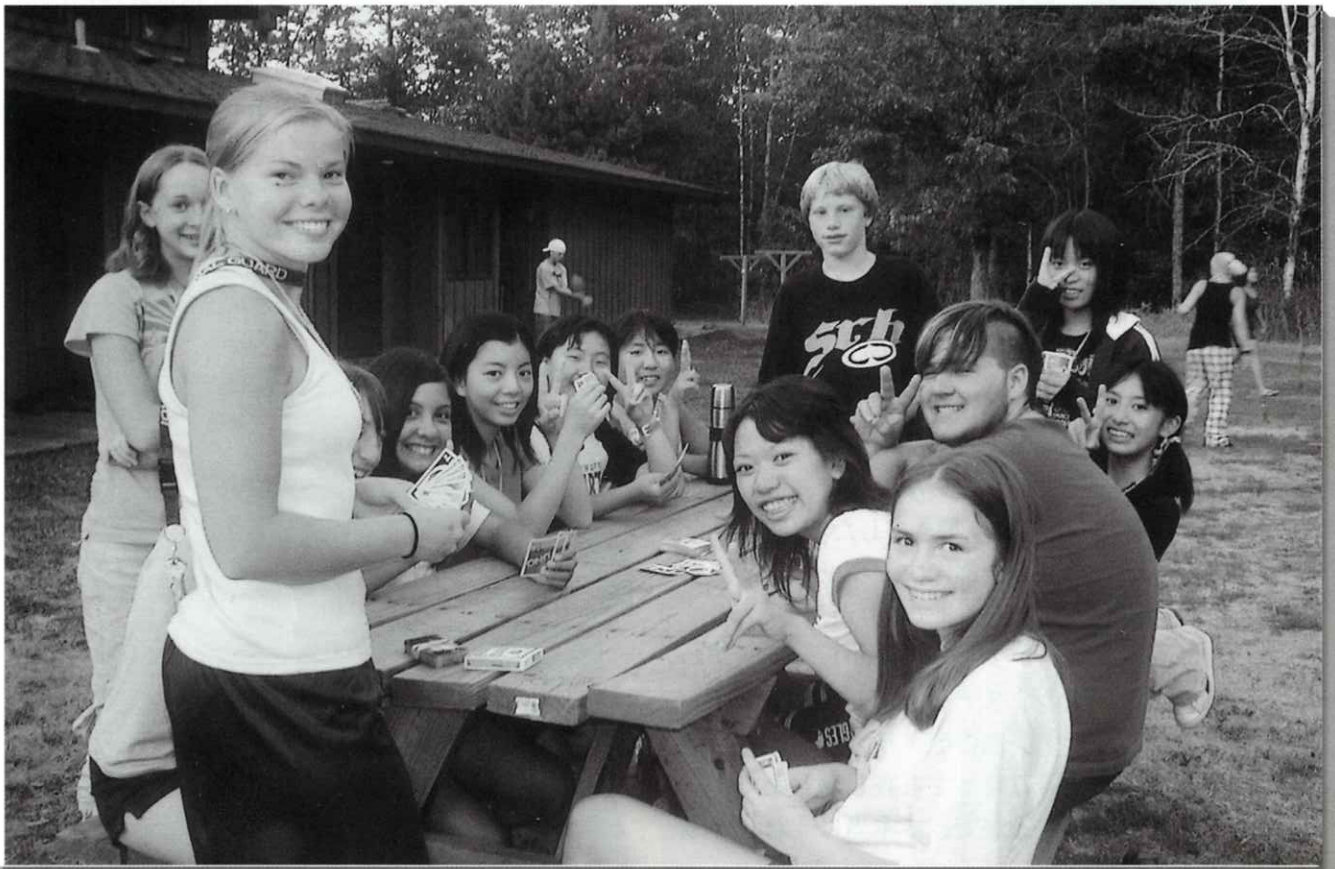


# 姉妹・友好都市ニュース

International Friendship Association of Ibaraki

vol.47 2006.12.20

茨木市国際親善城市協会



ミネソタのロングレイクキャンプ場で、現地の仲間とUNO（カードゲーム）を楽しむ「キャンプ交流訪問団」の皆さん〔本文は2ページ〕

## 目次

- キャンプ交流訪問団.....2
- 市民親善訪中団、茨木市スポーツ親善訪中団員募集.....3
- 英語学習ツアー、青少年活動室、姉妹都市活動室.....4
- ミネアポリス市訪問団来茨、JICA研修員とのふれあい交流.....5
- 小豆島町への市民訪問団、会員募集、小豆島町宿泊施設利用補助制度.....6
- 英語スピーチ大会、内海中学校サッカー部来茨.....7
- 国際交流の集い参加募集、日本語ボランティア教師養成講座、実用日本語学習会、  
ホストファミリー募集.....8

# 忘れられない思い出に……

キャンプ交流訪問団 ロングレイクキャンプ場へ

7月22日～8月1日、ミネソタのロングレイクキャンプ場でのキャンプと2日間のホームステイを行程とした「キャンプ交流訪問団」に中学生6人が参加しました。

キャンプのプログラムは退屈する暇もないほど盛りだくさんで、緊張の面持ちだった参加者も数日後にはすっかり打ち解け、現地に友達ができました。キャンプ最終日には参加者全員が“帰りたくない”という思いに……。6日間のキャンプ場での貴重な体験は忘れられない思い出になったことでしょう。



キャンプ交流訪問団に参加して

中谷 恵梨菜

私は最初、親と離れて海外へ行くなんて考えてもいませんでした。行く前、英語でしゃべれるかな？向こうの人達と仲良くなれるかな？と不安でした。ロングレイクで、驚いたのは湖があること、食事がパンばかりだったこと、とても暑かったことです。私は日本のキャンプしか知らないの、他にも不思議なことがたくさんあり驚きました。

楽しかったことは、全部です。キャンプで部屋が一緒だった人とは、夜遅くまでおりがみをしたり、歌ったり、私は英語が少し苦手だから、英語がわからない時はお互いジェスチャーをして話せたので、とても良かったです。他のアメリカの人達とも仲良くなったので、帰る時とても寂しかったです。でも、アメリカに友達ができ本当にうれしかったです。

次はホームステイでした。ホストファミリーもとても良い人ですぐ仲良くなれました。お家はすごく大きく、きれいで驚きました。次の日、隣の家の人にダンスパーティーに誘われて、どんなことをするのかと思っていたら、日本の曲でパラパラを踊っていたのでびっくりしました。でも、そのパラパラを教えてもらったりして隣の家の人も友達になれて良かったです。その次の日もホストファミリーと庭で遊んだり、しゃべったりしました。そして、ホストファミリーとお別れの時が来て、またとても悲しかったです。

私は、このキャンプやホームステイで、日本で

はできなかったことを経験でき、とても楽しかったので、参加できて本当に良かったです。またいつか自分でお金をためて行ける日が来ればいいなあと思っています。今年の夏休みは、一生忘れられない夏休みになりました。良い経験をさせていただいて、ありがとうございました。



へびとも仲良しに！



ワドキドキのカヌー体験



お別れの前に記念撮影

■平成18年11月7日～13日■

## 市民親善訪中団

に参加して



団長 穂谷 充宏

安慶市の著名な祭典「第四回黄梅劇祭」に参加する、安慶市への市民親善訪中を無事終えて、早や2週間が経ち、写真を見れば見る程、思い切って参加して良かったな、という満足感と真心こめて大歓迎してくれた安慶市の人達の温もりが思い出されて、感謝の気持ちで一杯になります。

今回は総勢6名と少人数でしたが、全員大変頑張って親善によく努めたため、その成果は大いに上がったものと喜んでおります。

また、コースが良く天候に恵まれ、その上、安慶市対外友好センターの呉氏と安慶市委員の辻野氏が同行してくださったので、多くのスケジュールも非常にスムーズに、また、安心・安全で実に快適な旅でした。大変御苦労様でした。

7日、上海空港からホテルへ向かう車の側を、一瞬見えた超スピードのリニアモーターカーは最初の驚きで、その夜登ったテレビ塔から夜景を見て、上海の宣伝ポスターで見かけるいつか行きたいと思っていた所についに来れたと、感激しました。

8日、いよいよ安慶市政府表敬訪問、久しぶりに緊張した時を過ごした後は大歓迎会で、それはもう大変な御馳走で大満足してから黄梅劇の観劇。その



振風塔の前で

菱湖公園の灯籠大会

スケールの大きさと多種の演芸に脱帽した夢のような一日でした。

9日、市内見学。圧巻はやはり振風塔の最上階から見る長江大橋。市内から遠く郊外を眺め日本の兵隊が戦場からの帰り道、この塔が見えたら安堵したという話を聞き、感無量になりました。

10日、市内の幼稚園でかわいい遊戯を見学し、大いに癒されて北京へ向かいました。

11日、北京市内見学、天安門広場、故宫博物館、景山公園、天壇公園、琉璃廠と代表的な名所と夜は京劇の観劇でデラックスな旅行気分満喫。

12日、いよいよ最終日。何といっても世界最長の城壁、北海道から九州間の約2.5倍の長さの万里の長城と明十三陵、頤和園を見学し中国はどんな国なのかわかったような錯覚で満足している次第です。

最後になりましたが、今回の訪中に関し色々とお世話頂きました茨木市・安慶市の多くの方々に、団員を代表して厚く御礼を申し上げます。ありがとうございました。

## 茨木市スポーツ親善訪中団

団員募集

期間 平成19年3月24日(土)～29日(木)、5泊6日  
 行程 大阪～上海(1泊)～安慶(3泊)～上海(1泊)～大阪  
 内容 友好都市・中国安慶市の青少年との水泳、卓球の交流試合等  
 対象 市内在住・在学の中学生、先着30人  
 参加費 約15万円  
 募集 1月9日～22日  
 申込先 協会事務局 (TEL.620-1604)



前回訪問時の卓球の親善試合



## Neighborhoodに学ぶもの 7月7日~7月25日

- 英語学習ツアーに参加して -

吉川 昌宏

姉妹都市・米国ミネアポリス市への英語学習ツアーに参加して学んだものの一つに「Neighborhood」があります。近隣と訳されるものですが、想像以上に意味が深く、いま日本の地域に求められているコミュニティー再生に参考になるものでした。

授業三日目、午前中テキストでNeighborhoodの概念を学び、それから先生の友人宅の地域を見学、昼食を共にしながら歓談しました。

Neighborhoodは空間を共有するだけでなく、共生感覚を分かち合うということ。お出掛けのときに声をかけ合う防犯が重視されているのが印象に残りました。それからイベントなどで培うコミュニティー精神。これは日本でも盆踊りなどで定着しつつありますね。

最も勉強になったのは地域の児童遊園。安全が重視されていて、ブランコの座るところが皮。万一、ぶつかっても大げがはしないように思えました。遊具全部が色彩豊かで、幼児の頃から色彩感覚を養おうという配慮がうかがえます。遊具の老朽化を放置していて事故なんていうのは、とんでもな

いことなのでしょう。日本にはない道路の空間、curbというものにも興味を持ちました。車道と歩道の緩衝地帯のことで、お年寄りや幼児がよろけたり、少々飛び出したりしても安全が保たれる空間です。ここに花を植えて街の美観に役立っている所があるのにも感心しました。

Neighborhoodの基本精神。といっても、経済効率を最優先して突っ走り過ぎて何十年か置き忘れてきた感じがする日本の「近所付き合い」とどこか似ていませんか。日本人の美德を再認識させてくれたようなミネアポリスの学習ツアーでした。



お別れパーティーで (中段右端が吉川さん)

## We Are Friends!

### 青少年活動室

英語でクッキング、イースター、ハロウィンなど、ゲームやクイズを使って、講師の久徳ウエンディさんと一緒に英語に親しむ「We Are Friends!」は、4・7・10・12・2月の第3日曜日(10月はハロウィンに近い日曜日)にクリエイトセンターで行っています。ぜひ参加してください!  
**対象** 小学4年生~中学3年生 **参加費** 無料  
**申込** 開催月初から協会事務局にて電話受付(詳細は開催月の広報「いばらき」に掲載予定)



ハロウィンパーティー

## Ibaraki Intercultural Network(IIN)

### 姉妹都市活動室

姉妹都市活動室では、英語力や国際感覚の向上、異文化理解のため、ゲストスピーカーを招いて、英語によるスピーチを聞いたり、ディスカッション等を行っています。また、JICA研修員、阪大留学生や茨木市近隣に在住の外国人との交流を楽しんでいます。

興味のある方は、気軽に見学に来てください。

**例会**：第1木曜日 午前9時30分~11時30分  
 第3土曜日 午後2時~4時

**場所**：クリエイトセンター

※変更になる場合があるため、協会事務局へお問合せください。

**年会費**：正会員：2,000円 (18歳以上)  
 準会員：1,000円 (中・高校生)



市長・議長を表敬訪問



さんまーコマも (かかしの実似!?)



土方商店で記念撮影

## ミネアポリス市訪問団来茨

姉妹都市・ミネアポリス市からライバック市長を団長とする訪問団が9月14日から21日にかけて茨木市を訪問しました。

平日は、大阪国際会議場で開催された「BIO JAPAN 2006」や彩都バイオヒルズセンター、大阪大学などの視察、市役所での市長・議長の表敬訪問などを行い、休日には京都観光や姉妹都市活動室との交流を楽しみました。

茨木神社や川端康成文学館などを徒歩で見学した「市内ウォーキングツアー」では、小休憩の場所として提供していただいた土方商店で「さくら」の大合唱。会場は大いに盛り上がり、訪問団は平日の多忙なスケジュールを忘れ、温かいひとときを過ごしたようでした。

20日の歓送会では、協会会員と最後の交流を行い、今後の更なる交流を約束し、茨木市を後にしました。

## 市民とJICA研修員とのふれあい交流

JICA研修員は、それぞれの国、または自身の高い目標をもって、その目的達成のため日々課題を持って研修に取り組みられておりますが、研修から離れ休日に市民とともに市内の施設見学などを含む交流の機会を通じ、ふれあいの輪を広げようと研修生20人、市民20人が集う9月30日のふれあい交流に参加されました。

参加市民の積極的な話かけと彼らの持ち前の陽



「椿の本陣」で説明を聞く参加者



入念なりハーサルの成果を発表!

気な気質により、グループの会話が弾み、楽しい一日をともに過ごされたことが印象的です。

また、最後のグループ発表ではそれぞれのグループが、題材や内容について昼食後や移動のときに歓談や笑いの中、打ち合わせ・リハーサルを繰り返しコミュニケーションを密に図られたため、本番でのお国のダンス・歌などを披露する表情や表現には、みんながともに楽しむこと、交流のすばらしさを伝えるものがありました。

海外からの人々と普段着の交流ができるように今、そのきっかけづくりをしているもので、そのときどきのふれあいを大切にふれあいの芽を相互に進展させていただくことを期待いたします。

温かい歓迎に大満足

小豆島町への市民訪問団



いちご狩り

6月7日～8日、市民訪問団20名が小豆島町を訪れました。今回は3月の(旧)内海町と(旧)池田町の合併後、市民訪問団としては初めての訪問であり、例年の表敬訪問やオリーブの記念植樹、そうめんの箸分け体験に加え、いちご狩りなど新たな体験を加えた魅力的な行程となりました。

出発当日、欠席者もなく元気に出発し、お弁当を食べながら船旅を楽しみました。島に着いて、寒霞溪の素晴らしい展望を堪能し、オリーブ公園へと向かいましたが、そこでの小豆島町の皆様からの歓迎ぶりにびっくり。町長・議長をはじめとする数多くの小豆島町関係者の方々と大きな横断幕に出迎えられて、参加者一同、大感激でした。

オリーブ公園を後にして訪れたヤマロク醤油では、醤油蔵の雰囲気を感じつつ、係の人の醤油造りの説明に熱心に耳を傾けました。晩の懇親会では、参加されていた茨木市民謡舞同好連盟の方の歌を聴きながら楽しく過ごし、宿泊先の露天風呂では、ゆっくりと旅の疲れを癒しました。

2日目は、岬の分教場・二十四の瞳映画村を見学し、岬の分教場では「懐かしい」との声が上がりました。次に訪れたそうめん工場では、恒例のそうめんの箸分け体験が好評で、皆、緊張しながらも上手に箸分けすることができました。

昼食後、(旧)池田町の「ふるさと村」を訪れ、いちご狩りを楽しみました。また、予定外でしたが少し時間があつたため、小豆島町庁舎(旧池田町庁舎)を車窓から見学することもできました。

今回も、町のガイド・歓迎など、小豆島町関係者の方々の温かい御協力と御配慮により、貴重な体験と心の交流ができたすばらしい訪問となりました。



「岬の分教場」で懐かしい気分に



歓迎茨木市民訪問団

小豆島町の温かい歓迎

市が小豆島町宿泊施設利用者に補助

姉妹都市小豆島町との交流促進を図るため、小豆島町の宿泊施設を利用する市民の皆さんに対し、宿泊費用の一部を市が補助する制度があるのをご存知ですか？

補助額(1泊)は、中学生以上3,000円、小学生1,500円(利用額が補助額に満たない場合はその金額)で、1人につき年間2泊分まで補助されます。詳しくは、市民活動推進課へお問い合わせ、又は茨木市ホームページをご覧ください。

● 会員募集 ●

本協会では、姉妹・友好都市をはじめ、国際交流に興味を持っておられる方々の入会をお待ちしています。

会員には、年2回発行する協会報の送付や、協会が催す交流行事のご案内をいたします。

〈年会費〉個人会員(一般) 2,000円  
(学生) 1,000円

〈申込先〉協会事務局(市役所南館8階  
市民活動推進課内)

TEL 620-1604

第23回 英語スピーチ大会報告



11月3日(祝)「英語スピーチ大会」を開催しました。中学生15人は指定暗唱文の暗唱、高校生11人は自由テーマで自分の意見を披露しました。審査員の先生方や聴きにいられた方々から「出場者の一生懸命さが伝わるスピーチ大会だった」、「発音のきれいな人が多かった」との感想が寄せられました。

【中学生の部】

- 第1位 山本 彩さん 茨木市立太田中学校
- 第2位 新宮 茜さん 神戸女学院中学部
- 第3位 加藤 あやめさん 茨木市立三島中学校

【高校生の部】

- 第1位 安藤 真理菜さん 大阪府立茨木高等学校
- 第2位 若山 沙織さん 神戸女学院高等学部
- 第3位 小田 麻美子さん 追手門学院高等学校



第42回茨木市教育月間 第23回茨木市国際親善都市協会

英語スピーチ大会

中学生の部



第42回茨木市教育月間 第23回茨木市国際親善都市協会

英語スピーチ大会

高校生の部

内海中学校

サッカー部 茨木市で交流試合



10月28日、29日に内海中学校のサッカー部が来茨し、茨木市内の中学校と交流試合を行いました。移動の疲れや環境の違いにも関わらず、絶えずかけ声が響く、活気あふれた交流試合となりました。また、試合前・試合後と、部員の皆さんの礼儀正しく元気な挨拶にも感心させられた2日間でした。

スポーツ交流について

小豆島町立内海中学校  
サッカー部主将 為藤 慎也



この茨木市とのスポーツ交流で、茨木市の中学生と仲良くなり、友好関係を深めることができました。しかも、サッカーに必要な体力、選手としてのマナーなども身につけられたと思います。

茨木市の中学生のサッカーのレベルは高く、驚かされることばかりでした。技術が高くて、僕たちのサッカーとは違いました。

僕は「体だけを使ったサッカーではなく技術もみがかっていかねければ。」と考えました。この体験を活かして香川県のサッカーのレベルを底上げしていきたいです。そのために、これからは

スポーツ交流で学んだことを毎日の練習や一つ一つの試合にきちんと活かしていくことが大切だと思います。

この交流で経験したことを忘れずに、僕たちが大人になってもこのスポーツ交流を続けてほしいと思っています。



白熱した交流試合

★ '07 ★  
**国際交流の集い**  
 にご参加ください!

参加費無料

- ・日時 2007年2月25日(日) 午後1時～
- ・場所 茨木市市民会館 ドリームホール
- ・内容 外国人による日本語スピーチ発表会や民族衣装の紹介、市民と外国人の交流会など(予定)
- ・参加 当日、直接会場へ
- ・問合せ 協会事務局 (TEL 620-1604)



前回の餅つき体験

## 日本語

### ボランティア教師 養成講座

地域在住外国人への日本語習得支援のために  
 主催：茨木市実用日本語学習会 (下段参照)

在住外国人の日本語習得を支援している「実用日本語学習会」の日本語ボランティア教師養成講座です。ぜひご参加ください。

- とき 平成 19年4～9月 (8月除く) 月1回
- ところ クリエイトセンター 他
- 講義内容 日本語支援ボランティアについて
- 講師 「にほんごボランティアネットワーク」から派遣
- ※ 受講・申込要領は「広報いばらき3月号」に掲載予定ですのでご参照ください。

## Let's learn Japanese together!

### 実用日本語学習会

実用日本語学習会では、日本語を母語としない方を対象に、マンツーマンで日本語学習の支援を行っております。

また、学習支援者も同時に募集していますので、興味のある方は、ぜひ一度見学に来てください。

とき：《Thursday Class》1：30～3：00p.m.  
 《Friday Class》10：00～11：30a.m.

ところ：8th Floor at City Hall Annex

ひょう：1,500円 (テキスト代は実費)

れんらく：新山 (Tel.090-3868-1346)

## ホストファミリーになりませんか?

協会では、姉妹・友好都市からの訪問者やJICA大阪国際センター研修員などを家庭に受け入れ、家族とともに生活するホームステイや外国の方を家庭に招いて交流を深めるホームビジット(日帰り)を通じて、日本での生活習慣をはじめとする様々な日本文化に触れられる機会を提供していただけるホストファミリーを募集しています。

ホストファミリーの登録に際して、制限はありませんが、善意かつ無償で責任を持ってお世話していただける方をお願いしております。

詳しくは、事務局までお問合せください。

## 寄 附

国際交流事業の推進のために本協会に次の方から温かいご寄附をいただきました。ご厚志に心からお礼申し上げます。(5月～11月、敬称略)

8月 国際ゴルフ株式会社 (10万円)

10月 茨木ライオンズクラブ (10万円)

### 編集・発行

## 茨木市国際親善都市協会

事務局:茨木市市民生活部市民活動推進課内  
 〒567-8505

茨木市駅前三丁目8番13号

TEL.072-620-1604 FAX.072-622-7202